

令和2年度 地域連携事業 実施結果

1. 事業名称：愛知県立大学公開シンポジウム「世界展開する海外日本研究者に学ぶ」
大航海時代のキリシタン文学—グローバル社会の形成に果たした日本の役割—
2. 事業種別：共催
3. 申請者：中根 千絵（愛知県立大学日本文化学部国語国文学科 教授）
4. 主催：日本文化学部
5. 開催日時：令和2年10月14日（水） 14：00～17：00
6. 会場：オンライン（Zoom ウェビナー）
7. 講師：パトリック・シュウェマー 氏（武蔵大学人文学部 准教授）
8. パネリスト：南郷 晃子 氏（神戸大学国際文化研究推進センター 協力研究員）
服部 光真 氏（元興寺文化財研究所 研究員）
9. コメンテーター：中根 千絵（愛知県立大学日本文化学部国語国文学科 教授）
10. 参加者数：157名（一般）

【概要】

〔基調講演〕

排耶書に見られるキリシタン知識の伝承 否定という受容

パトリック・シュウェマー氏（武蔵大学人文学部 准教授）

〔シンポジウム〕

『吉利支丹物語』へのアプローチ

—「異」を読む、「異」から読む—

三宅宏幸准教授（愛知県立大学日本文化学部）による
司会のもと、パネリストからの報告後、講師・コメンテーターとともに江戸時代初期の「異」文化への、あるいは「異」文化からの視点について議論した。

【シンポジウムの様子】



【チラシ】

愛知県立大学公開シンポジウム
世界展開する海外日本研究者に学ぶ

大航海時代のキリシタン文学

—グローバル社会の形成に果たした日本の役割—

日時 2020年10月14日（水）14:00-17:00
オンライン開催（Zoom）参加費無料（定員100名）

参加方法 本学国際文化センターウェブサイト（<http://www.bur.aichi-pu.ac.jp/kenkai/>）
にアクセスいただき、「世界展開する海外日本研究者に学ぶ」より所在地の指定
メールアドレスに情報をご入力ください。

■ 司会の部：大塚 美二（愛知県立大学日本文化学部長・教授）
■ ごあいさつ：久富未原路（愛知県立大学 学長）

■ 基調講演
排耶書に見られるキリシタン知識の伝承 否定という受容
パトリック・シュウェマー（武蔵大学人文学部 准教授）
私は大航海時代（16～17世紀）の日本列島における宣教師と所作の政治史を研究して
います。歴史、人文文化の両方から研究をすすめてきた結果、世界が広がってしまっ
ています。グローバル社会の形成に日本が中心となる役割を果たした時代へと歴史の脈を
追ってみたいと思います。

■ シンポジウム 司会：三宅 宏幸（愛知県立大学日本文化学部 准教授）
『吉利支丹物語』へのアプローチ —「異」を読む、「異」から読む—
南郷 晃子（神戸大学国際文化研究推進センター（Promis）協力研究員）
服部 光真（元興寺文化財研究所 研究員）
（コメンテーター）
中根 千絵（愛知県立大学日本文化学部 教授）
横崎 智央（愛知県立大学国際文化研究科日本文化専攻博士前期課程）

シュウェマー氏と南郷氏、服部氏は、キリシタン文学やキリシタン書を基盤とする研究を行っています。文学・歴史学が「異」なる専門分野を持つ者たちが共同で「異」文化への理解を深める
機会を設ける研究の活動、またその成果を、後進者や社会に還元する活動の両方を中心に紹介
いただき、そこから見える江戸時代初期の「異」文化への、あるいは「異」文化からの視点につ
いて議論し、大航海時代の日本について考えます。

主催：愛知県立大学日本文化学部
共催：愛知県立大学国際文化センター

愛知県名古屋市中区西三河152-2-3
愛知県立大学学術情報部 研究支援・国際連携課
TEL 0561-70-8843 FAX 0561-64-1104
E-mail: kenkai@bur.aichi-pu.ac.jp

愛知県立大学
AICHI PREFECTURAL UNIVERSITY

花ひらく、底力
150年 花ひらく、底力

愛知人文学部国際文化センター
Aichi Institute of International Culture Studies